

## 6 狩猟者の確保・育成拠点となる 多機能な射撃場がオープン

県内の銃猟免許所持者は高齢化により減少の一途をたどっています。このままでは野生動物の生息範囲が拡大し、農林業被害の増加が懸念されることから、狩猟者の確保・育成を目的に6月1日(土)、三木市に県立総合射撃場がオープンしました。西日本最大規模を誇る約80haの敷地には3面のクレー射撃場をはじめ、わなの仕掛け方を学べる実習フィールド、散弾銃やライフル、競技用空気銃の練習に利用できる2棟の屋内射撃場などを備えます。今後は、初心者向けの技能講習会やジビエ活用の研修会などを実施していきます。(県自然鳥獣共生課)

● 県立総合射撃場  
● 三木市吉川町福井523-6  
☎ 0794-72-0255 ☎ 0794-72-0256  
🔍 兵庫県立総合射撃場  
※電話、ファクスは6月4日(土)ごろに開通  
※講習会のスケジュールや利用方法などはホームページで確認してください

ライフルの射撃では50m先と100m先に的を設置できます。



ビームライフルのコーナーも。銃所持許可が不要で小学生から利用可。



会議室は流し台を備え、ガラス張りのジビエ処理加工室も併設。

クレー射撃場は主に散弾銃の実習に使われます。

## 7 県内の県立高校初のeスポーツ部 仲間と共に技術を磨き地域交流も

県立氷上西高校eスポーツ部は、県立高校の魅力向上を図る丹波市の交付金を受け、2023(令和5)年秋から活動を始めました。ゲーム用パソコンなどが設置された部室で週4日、放課後に2年生8人、1年生5人がオンラインゲームの「フォートナイト」や「ヴァロラント」を中心に練習し、高校生対象の大会に出場しています。日々の活動では、ポイント数の最高記録更新など個人の目標を定め、切磋琢磨(せっさたくま)しています。部員同士でアドバイスし合ったり、チームを組んで試合に出たりすることで、コミュニケーション力やチームワークが高まりました。また、市内にあるIT交流施設「芦田集学校」などで2カ月に1度のペースで地域の人を対象にイベントを開いています。普段ゲームをしない人も気軽に来て楽しめる場にしていきたいです。大会で成績を残し、一人でも多くの人に「eスポーツはスポーツ競技」と認識してもらえるよう、全国大会出場を目標に頑張ります。(県立氷上西高校eスポーツ部)

大会ではゲームに応じて定められた人数でチームを組み、対戦。出場する大会は部員が自主的に探し、顧問に相談して参加を決めています。



eスポーツとは  
エレクトロニック・スポーツの略で、コンピューターゲームやビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。

● 県立氷上西高校  
☎ 0795-87-0146  
☎ 0795-87-1553  
🔍 氷上西高校

ひょうごのSDGs | 県や県内の企業・団体が進めるサステナブルな活動を紹介

## 8 ユニバーサルツーリズムの普及に コンシェルジュが活躍しています

年齢や障害の有無にかかわらず誰もが気兼ねなく旅行を楽しめる「ユニバーサルツーリズム(UT)」を推進するに当たり、2022(令和4)年度から、旅行者や観光関連事業者からの相談に対応し調整を行う「ひょうごユニバーサルツーリズムコンシェルジュ」の養成講座を開いています。受講者は県内の旅行業や宿泊業、観光協会、NPO等の関係者で、22年度と23年度で計39人を認定しました。例えば、旅行業者ならユニバーサル対応施設をつないで行程を組むなど、それぞれの立場でUTの裾野を広げる活動に取り組んでいます。本年度は8月ごろから半年間で全6回の講座を予定しています。(県観光振興課)

● 県観光振興課 ☎ 078-362-3375 ☎ 078-362-4275  
🔍 兵庫県ユニバーサルツーリズム

養成講座修了者の声

(一社)インクルー代表理事  
西田紫乃さん

私たちは障害のある方と家族や友人を対象に但馬で自然体験活動を企画、実施しています。日頃、活動のアドバイスを受けている芸術文化観光専門職大学がカリキュラムを監修していると知り、受講しました。印象に残っているのは、聴覚障害者向けのモニターツアーを考え、実施したことです。企画者、主催者、参加者など、さまざまな視点に立ち、快適な観光とは何かを考える機会になりました。コンシェルジュに認定された後も、研さんを続けることが大切です。今後は修了者を集めて実務に特化した講座などを開いてもらえるとうれしいですね。



水陸両用車いすを使って海水浴を楽しんだり、チェアスキーに挑戦したりと、四季折々のアクティビティを提供しています。